

# 電子情報通信学会研究報告 SS2013-84 正誤表

山森 章弘<sup>†</sup> 小林 隆志<sup>‡</sup>

<sup>†</sup> 東京工業大学 工学部 情報工学科

<sup>‡</sup> 東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻

電子情報通信学会研究報告 SS2013-84 「活動履歴と過去の推薦状況を考慮した変更支援ツールの試作」(電子情報通信学会研究報告 Vol. 113, No. 489, pp. 73-78) で発表した内容に用いた評価用プログラムに欠陥が発見されました。欠陥を修正した結果、評価実験における結果が変わりましたので、グラフ及びその説明・考察箇所を訂正いたします。また、一部の表現も併せて訂正致します。

## 評価実験結果・考察の訂正

(1) 4 ページの図 2, 5 ページの図 3, 図 4, 図 5 をそれぞれ文末の通り訂正する

(2) 2 ページ左側, 上から 6 行目

(誤) ファイルレベル推薦では 4 つ前の

(正) ファイルレベル推薦では 3 つ前の

(3) 2 ページ左側, 上から 10 行目

(誤) メソッドレベル推薦では 0.21 程度

(正) メソッドレベル推薦では 0.18 程度

(4) 4 ページ右側, 5.2.2 実験結果の 3 行目

(誤) 変更推薦のパラメータが  $n = 4, weight(i) = 0.2$  のときに  $\overline{nDCG}$  が最大になり, この時の  $\overline{nDCG}$  は 0.695 であった。また,  $n = 0$  のときの  $\overline{nDCG}$  は 0.628 であった。

(正) 変更推薦のパラメータが  $n = 3, weight(i) = 0.9^i$  のときに  $\overline{nDCG}$  が最大になり, この時の  $\overline{nDCG}$  は 0.699 であった。また,  $n = 0$  のときの  $\overline{nDCG}$  は 0.642 であった。

(5) 4 ページ右側, 5.2.2 実験結果の 8 行目

(誤) 変更推薦のパラメータが  $n = 5, weight(i) = 0.8$  のときに  $\overline{nDCG}$  が最大になり, この時の  $\overline{nDCG}$  は 0.678 であった。また,  $n = 0$  のときの  $\overline{nDCG}$  は 0.477 であった。

(正) 変更推薦のパラメータが  $n = 5, weight(i) = 0.9^i$  のときに  $\overline{nDCG}$  が最大になり, この時の  $\overline{nDCG}$  は 0.671 であった。また,  $n = 0$  のときの  $\overline{nDCG}$  は 0.494 であった。

(6) 5 ページ左側, 上から 3 行目

(誤)  $\overline{nDCG}$  が 0.21 程度上がっている

(正)  $\overline{nDCG}$  が 0.18 程度上がっている

(7) 5 ページ左側, 5.4.1 実験 1 の 7 行目

(誤) ファイルレベル ( $n = 4, weight(i) = 0.2$ )

(正) ファイルレベル ( $n = 3, weight(i) = 0.9^i$ )

(8) 5 ページ右側, 上から 1 行目

(誤) メソッドレベル ( $n = 5, weight(i) = 0.8$ )

(正) メソッドレベル ( $n = 5, weight(i) = 0.9^i$ )

(9) 5 ページ右側, 上から 2 行目

(誤)  $n$  および  $weight(i)$  が大きい

(正)  $n$  が大きい

(10) 5 ページ右側, 上から 8 行目

(誤) 多くの変更イベントを累積し, また重み付けを大きくした方が

(正) 多くの変更イベントを累積した方が

(11) 5 ページ右側, 上から 12 行目

(誤)  $\overline{nDCG}$  が低くなり

(正)  $\overline{nDCG}$  が低くなる場合があり

## 表現の訂正

(1) 1 ページ目 あらまし 1 行目

(誤) 開発者が次に変更すべき 個 所

(正) 開発者が次に変更すべき 箇所

(2) 2 ページ右側, 3.1 先行研究 [6-8] の概要の 5 行目

(誤) た, 変更を伴った

(正) 変更を伴った

(3) 2 ページ右側, 3.1 先行研究 [6-8] の概要の 8 行目

(誤) 拡張すること操作履歴を収集し

(正) 拡張すること で 操作履歴を収集し

(4) 3 ページ右側, 4.2 支援ツール: Eclipse プラグインの 2 行目

(誤) オフラインで 推薦精度計算が主目的であり

(正) オフラインでの 推薦精度計算が主目的であり

(5) 4 ページ左側, 上から 12 行目

(誤) 参照イベントの区別なされていない

(正) 参照イベントの区別 が なされていない

(6) 6 ページ右側, 上から 6 行目

(誤) 手法の効果を確認す できた

(正) 手法の効果を確認できた

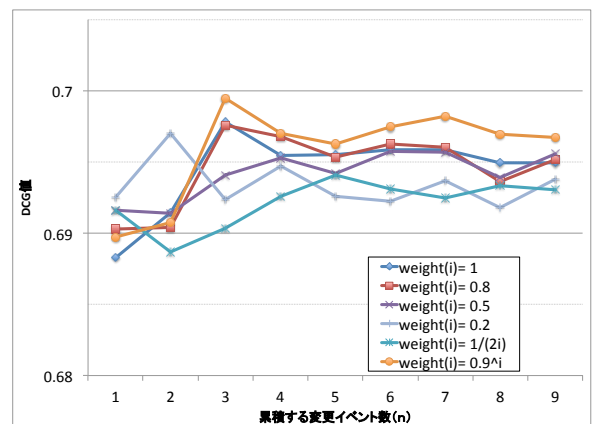


図2 ファイルレベルでのパラメータの決定

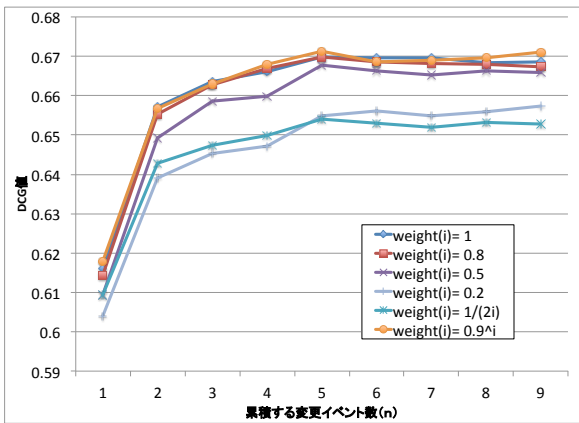


図3 メソッドレベルでのパラメータの決定

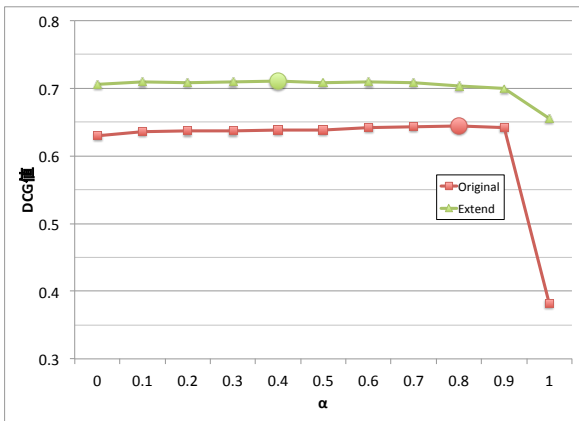


図4 ファイルレベルでの先行研究の手法と提案手法の比較

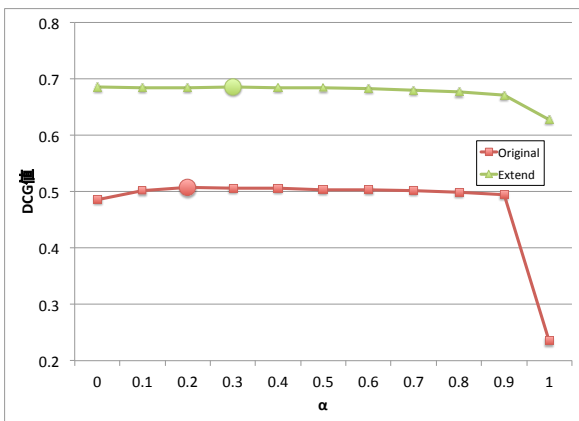


図5 メソッドレベルでの先行研究の手法と提案手法の比較